

各会計予算額比較表

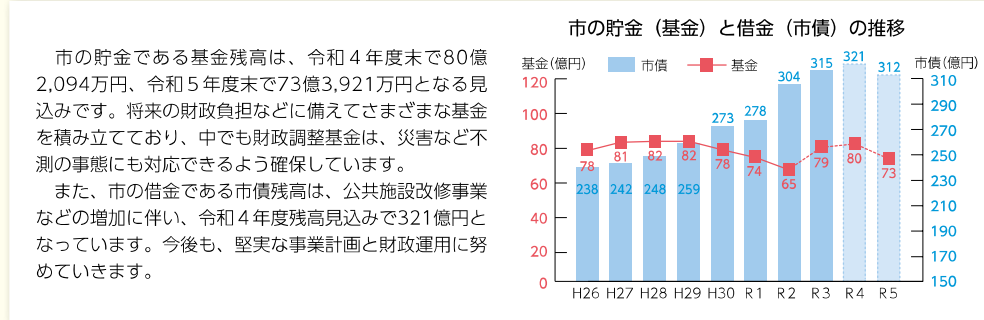
区分	令和5年度	令和4年度	前年度比
一般会計	259億6,200万円	261億9,400万円	-0.9%
特別会計			
国民健康保険特別会計	68億9,242万円	67億6,979万円	1.8%
後期高齢者医療特別会計	7億9,174万円	7億9,936万円	-1.0%
介護保険特別会計	57億2,532万円	59億1,881万円	-3.3%
唐臼峡そうめん流し事業特別会計	2億2,449万円	2億1,075万円	6.5%
小計	136億3,397万円	136億9,870万円	-0.5%
公営企業会計			
水道事業会計	13億7,398万円	14億3,332万円	-4.1%
公共下水道事業会計	16億1,086万円	13億2,056万円	22.0%
温泉供給事業会計	4,451万円	4,456万円	-0.1%
小計	30億2,935万円	27億9,844万円	8.3%
合計	426億2,532万円	426億9,115万円	-0.2%

※数値は四捨五入しているため合計額は一致しません。

基金残高（一般会計）

区分	令和5年度
財政調整基金	21億3,315万円
減債基金	17億2,805万円
その他の基金	5億232万円
その他特定目的基金	29億7,569万円
合計	73億3,921万円

※令和6年3月末の見込み額（令和4年度決算剰余金は含まない）



市民1人当たりの予算
約68万8,885円 (0.8%↑)

※ ()内は前年度比、人口は、1月1日時点の推計人口37,687人

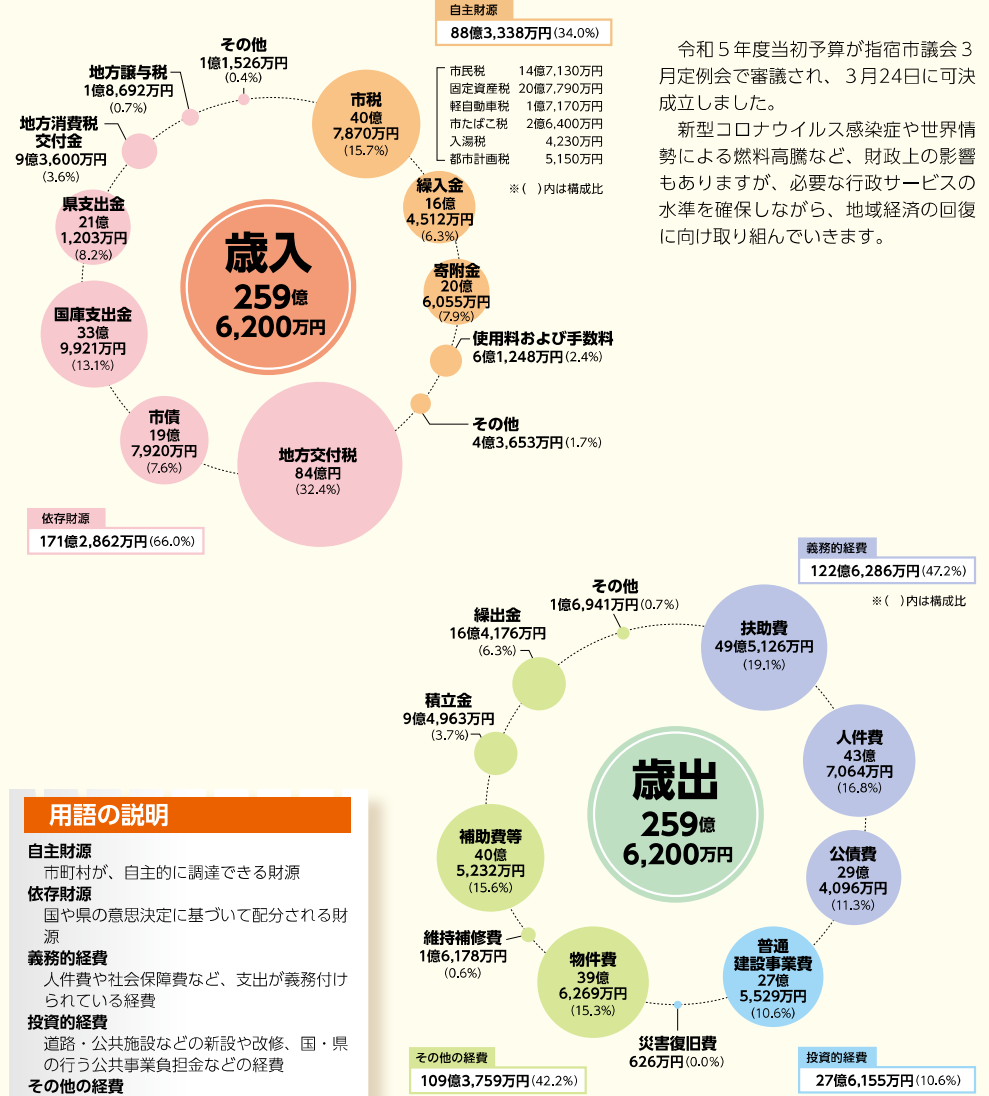
市民1人当たりの目的別歳出予算額は次のとおりです。教育費は新市民会館建設工事の終了、農林水産業費は水産加工業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業の終了が減少の主要因です。土木費は道路新設改良事業、指宿港湾緑地整備事業などにより増加しています。

民生費	商工費	公債費
213,848円 (0.3%↓)	90,324円 (9.1%↑)	78,036円 (2.6%↑)
児童・高齢者・障害者の福祉など	商工業・観光の振興など	施設整備などで借りたお金の返済
教育費	土木費	総務費
68,619円 (20.4%↓)	63,016円 (65.7%↑)	59,118円 (1.4%↓)
学校の管理運営・施設整備・生涯学習など	道路・公園・公営住宅の整備など	総務・財政管理・政策推進・地域振興・税務事務など
衛生費	農林水産業費	その他
53,718円 (0.8%↓)	29,505円 (25.2%↑)	32,701円 (1.6%↑)
ごみ、尿の処理や健康増進など	農林・畜産・水産業の振興など	消防活動および市議会運営など

全体額 ※()内は構成比

民生費	80億5,927万円 (31.1%)
商工費	34億403万円 (13.1%)
公債費	29億4,096万円 (11.3%)
教育費	25億8,606万円 (10.0%)
土木費	23億7,487万円 (9.1%)
総務費	22億2,799万円 (8.6%)
衛生費	20億2,447万円 (7.8%)
農林水産業費	11億1,194万円 (4.3%)
その他	12億3,241万円 (4.7%)

令和5年度 当初予算 一般会計予算 259億6,200万円



用語の説明

自主財源
市町村が、自主的に調達できる財源

依存財源
国や県の意思決定に基づいて配分される財源

義務的経費
人件費や社会保障費など、支出が義務付けられている経費

投資的経費
道路・公共施設などの新設や改修、国・県の行う公共事業負担金などの経費

その他の経費
上記の義務的・投資的経費以外の経費

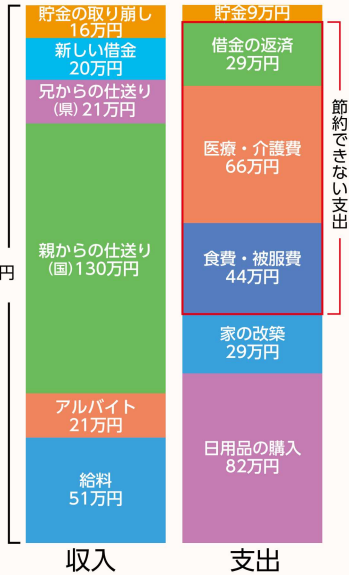
令和5年度 主な事業

令和5年度 指宿さん家の家計簿

分かりやすくするため「1億円」を「1万円」と表しています。

給料……………市税、分担金および負担金、
使用料および手数料、
財産収入、諸収入、繰越金
アルバイト……………ふるさと納税などの寄附金
親(国)からの仕送り…国庫支出金、交付税、交付金など
兄(県)からの仕送り…県支出金
新しい借金……………市債
貯金の取り崩し……………繰入金
食費・被服費……………人件費
医療・介護費……………扶助費、
繰出金(国保、後期、介護特会への繰出金)
借金の返済……………公債費
日用品の購入……………物件費、補助費等、
投資・出資・貸付金など
家の改築……………普通建設事業費、災害復旧費、維持補修費
貯金……………積立金

259万円



節約できない支出

「第二次指宿市総合振興計画」および「第二期指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき「豊かな資源が織りなす食と健幸のまち」の実現に向けて、市民ニーズに適切に対応した効率・効果的な事業内容となるよう、事業の重点化を図っています。

みんなでつくる“人”と“環境”に やさしいまち[生活環境]

- **移住定住・空き家活用事業 1,400万円**
移住定住対策、空き家の有効活用、仕事のマッチング支援、出合いの場の創出の支援など、関連する施策をワンパッケージで横断的に取り組みます。
- **消防ポンプ自動車購入事業 2,554万円**
消防分団用に消防ポンプ自動車を購入します。

利便性に優れた快適なまち[社会基盤]

- **交通運輸事業 4,700万円**
公共交通基本計画に基づき、市内循環バスや乗り合いタクシーの運行を実施します。
- **指宿港湾湾緑地整備事業 4,600万円**
令和2年7月に供用開始された緑地1工区(太平次公園〜逆瀬川)の背後地の整備を行います。

ふるさとを愛し未来を拓くこころ豊かな 人材をはぐくむまち[教育文化]

- **小学校トイレ改修工事 1億8,439万円**
市内小学校トイレの洋式化を順次進めていきます。令和5年度は、指宿小学校と柳田小学校の改修工事を行います。
- **山川勤労者体育センター改修事業 1億4,740万円**
屋根・外壁の防水、アリーナ照明のLED化などの改修工事を行います。

市民と行政が協働で創る活気あふれるまち [コミュニティ・協働]

- **ゆるやかにつながる小さなまち・むらづくり事業 314万円**
地域が抱えるさまざまな課題を解決することができるような地域力を創出します。
- **共生・協働推進事業、共創の場づくり事業 251万円**
市民や団体などが共に協力し支え合う地域活動を支援します。また、市民が参画したまちづくりを進めていくための場づくり・環境づくりを推進します。

市の組織を再編しました

新設する課など

市長官室に「地域創造係」を設置

本市への移住・定住の促進と若者の市外への流出抑制を図るために、空き家活用、移住定住促進、婚活支援、仕事マッチング支援、それらに係る情報発信の強化を包括的に取り組む「地域創造係」を設置。

総務課に「市史編さん室」を設置

令和8年に市制施行20周年を迎えるに当たり、新指宿市史を編さんする「市史編さん室」を設置。

ふるさと納税課

「ふるさと納税室」を「ふるさと納税課」に名称変更。

生涯学習課

新市民会館、COCCOはしむれなどの文化施設や公民館、図書館などの社会教育施設を拠点として、市民が子どもから大人まで生涯にわたって自主的に学ぶことのできる適切な学習環境、学習機会を充実させるため「歴史文化課」と「社会教育課」を統合して「生涯学習課」を設置。

☎ 経営改善推進室行財政再建係 ☎2111 ☎125

変更がある課など

市民課「池田・今和泉分室」を廃止

利用件数が減少しており、現在の利用者についても代替手段により各種手続きが可能であると了承が得られたことから「池田・今和泉分室」を廃止。

「収納対策室」を「税務課」に統合

組織体制のスリム化を図ることを目的として「収納対策室」を「税務課」に統合。

「新型コロナウイルス感染症対策室」を「健康増進課」に統合

新型コロナウイルス感染症の緊急対応的な組織体制で取り組む業務に一定のめどがたったことから、「新型コロナウイルス感染症対策室」を「健康増進課」に統合。

農政課「人・農地プラン推進室」を廃止し、農業委員会事務局に「地域計画係」を設置

「人・農地プラン」が「地域計画」と名称を変えて法定化されることに伴い、農政課の「人・農地プラン推進室」を廃止し、農地の効率的かつ総合的な利用を目指した地域計画の前段となる目標地図を作成する「地域計画係」を農業委員会事務局に設置。

「学校整備室」を「教育総務課」に統合

組織体制のスリム化を図ることを目的として「学校整備室」を「教育総務課」に統合。

すべての人が健康で安心して 生き生きと暮らせるまち[保健医療福祉]

- **地域医療支援講座設置寄付事業 2,500万円**
鹿児島大学から指宿医療センターへ産科医の派遣を行います。
- **麻酔科医確保事業 740万円**
指宿医療センターの麻酔科医を確保するため、麻酔科の派遣に要する費用の一部を助成します。
- **広域連携SIB事業 3,503万円**
市民の健康度を向上させ、医療費と介護費の減少を目指す「広域連携SIB」事業を実施します。
- **出産・子育て応援交付金事業 2,529万円**
妊娠前から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の支援を行います。

資源と産業が結合し 湯遊と暮らせるまち[産業経済]

- **「ALOHANAまち指宿」再生プロジェクト事業**
本市が策定した「指宿市観光ビジョン」の計画を着実に実行するため、デジタルマーケティングなどを活用して観光素材の磨き上げと誘客推進を図ります。
- **ふるさと納税推進事業**
ふるさと納税の増額を図るため、地元産業の振興につながる返礼品の企画・開発やプロモーション活動などの事業を行います。

基金の活用

ふるさと応援基金 6億5,000万円

ふるさと納税を財源とした「ふるさと応援基金」を活用し次の事業などに充てています。

- 母子保健推進事業費 2,650万円
- 特別支援教育支援員配置事業費 3,640万円
- スクールバス運行・管理事業費 1,860万円
- 資源ごみ分別収集管理費 3,220万円
- ヘルシーランド管理費 3,510万円 など

合併まちづくり基金 2億円

合併まちづくり基金を活用し消防団員の活動費用などに充てています。

- 消防団員管理費 8,150万円
- 行政事務連絡員費 5,200万円 など